

たかはぎし 議会だより

No. 112

2011年2月7日 発行

発行 高萩市議会
発行責任者 議長 鈴木 英樹
編集 高萩市議会だより
編集特別委員会
〒318-8511 茨城県高萩市本町1-100-1
電話(0293)23-5373



(シリーズ小学校) 松岡小学校 児童数 424人(平成23年1月現在)

主 な 内 容

市政に対する一般質問・・・	2
議案に対する質疑・・・	6
討論・・・	7
議案等審議結果・・・	9

去る12月10日から24日までの15日間の日程で第4回定例会が開かれ、市長から条例の制定、平成22年度補正予算が提案され審議しました。また議会最終日に議員から意見書案1件が追加提案され審議しました。

平成22年第4回定例会

去る11月25日、第6回臨時会が開かれ、市長から条例の一部改正、平成22年度補正予算ほか提案され審議しました。

平成22年第6回臨時会

去る10月28日、第5回臨時会が開かれ、市長から専決処分関係議案1件が提案され審議しました。

平成22年第5回臨時会

今川敏宏 議員

学校教育環境について

1 点目、学校耐震化の現況と今後の計画を伺います。2 点目、エコスクール事業について、現況と今後の計画について伺います。3 点目、夏期における学校の猛暑対策をどうしていくか、執行部の考えを伺います。4 点目、校庭の芝生化について、まず校庭を芝生化することによってどのような効果があるか、芝生化プロジェクトの代表である佐藤光利氏の資料から紹介します。

第一に健康保全上の効果として4点挙げています。1、人が感じる不快感を出す環境ストレスの削減で、騒音の削減や気温の調節、光反射の減少とアレルギーを起こす物質の制御。2、健康を促進する最高の場所の提供として、芝生の世話や芝生の上で運動することは、屋外での活動を安全で楽しくさせ健康を促進する。3、芝生は人々の気持ちを幸せ、思いやり、平和、落ち着き等の感じを醸し出す。4、園芸療法としてのリハビリテーションの効果があるとしています。

次に第二の効果として環境保全上の効果を8点挙げています。1、空気からの汚染物質の吸収。2、酸素の発生。3、微粒子物質の除去。4、気温の調整。5、水の浄化と地下水の補充。6、火事遅滞現象。7、土

壌作り。8、浸食防止であります。

次に第三の効果として教育上の効果を2点挙げています。1、教育活動や体育活動の活発化。2、環境教育の教材としての利用であります。

以上の効果によってどういう現象が起きているか事例を挙げますと、子どもが外で遊ぶようになり、そのことによって子どものストレスが減少し喧嘩やいじめがなくなり、学習の集中力が高まったり、子どもの運動能力の向上やアレルギー、偏食、寝付きの悪いことの改善が見られるということ。また、子どもの人間関係に改善が見られ、子どもの変化によって、親や家庭環境も良好化し、芝生管理を通してPTAや地域交流も増え、地域力も向上していること等、校庭を芝生化するメリットは想像以上にあることがわかります。

こうした芝生化のメリットとは裏腹である、コストと管理のデメリットを克服する方法として注目されているのが「鳥取方式」と呼ばれている方法です。この方式は経費を約1/100以下に押さえられ、管理も容易にできることから、現在国内1000校以上で採用されています。

以上のようなことを踏まえ、さらにエコスクールの観点や入園児確保のアピールとしても、市内小学校校庭、幼稚園保育園園庭の芝生化を提案し見解を伺います。

寺岡七郎 議員

企業誘致方針について

質問

今、高萩の財政問題は住宅公社及び開発公社の財政負担に大きく

圧迫されております。これらの財政問題は解決されたのではなく、解決の見通しが立ったということであり

ます。その内容は今後20年間に及んで返済が義務付けられ、その責任は重大であります。そのためにも新たな財源を作らなければなりません

が、そう簡単にはありません。一つは加工紙跡地の民間資本の活用をどのように考えるかであります。加工

紙跡地の利用は高萩の活性化、また新たな財源確保のために重視していく必要がある。もう一つは工業団地の処分は極めて重大であります。

企業誘致は税収、人口増加、地元雇用であり、この目的を達成するためには二つの条件がある。工業用水を

買ってくれる企業、また環境にやさしい企業であればどのような企業であってもよいはずであります。

①高萩市の企業誘致方針の内容は、食料品製造業、電気機械器具製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、化学

工業、鉄鋼業と定めています。これ以外はだめということなのか。

これをあえて外したのはなぜか。

④工業用水は利用されなくても買ってくれる企業であれば問題はないのではないかと。

⑤工業用水を無料にすると新聞報道されましたが、これは企業が考えるのではなく、設立団体である高萩市が考えるべきではないかと。

市長 ①日本標準産業分類の中から工業用水を多量に使用することが想定される業種を選択しました。

②多量の水を使う製造業であると判断いたしました。しかし見直しを検討していきたく考えています。

③中間処理施設、特に産業廃棄物処理施設は反対であります。

④工業用水を現実的に使用する企業が原則であります。

総務部長 ⑤工業の無料については、工業の企業団議会において了承されております。

質問 ①主な企業誘致ということで、これ以外は大めということではないかと理解しました。

③中間処理施設は社会的には必要施設である。高萩においても産業廃棄物もたくさん出している。しかし施設は自分の街にはつくらないというのは極めて利己的な考えではないかと。

④使用水量でなく契約水量で支払って

くれるならば財政的に大いに貢献できるのではないかと。

⑤自治法では負担割合は設立団体の規約に

折り込むことになっている。

八木陽子 議員

ごみゼロの日（一斉清掃日）

制定について

質問 平成19年、20年に向けて環境省から全国不法投棄撲滅運動として国、自治体、市民が連携して監視活動や啓発活動を一斉に実施するため、5月30日から6月5日を全国ごみ不法投棄監視ウィークとして制定する指導があり、国と自治体が連携して一斉清掃を実施しています。不法投棄を防ぐ意識づくりの一環として本市でも一斉清掃の日、又はごみゼロの日を設けてはいかがでしょうか。

市長 ごみゼロの日制定については、市民一丸となってボランティア活動を展開する効果が期待できると考えており、継続的な活動の体制づくりが重要と考えています。今後検討してまいります。

質問 市民の中にも、あそこだごみを捨てても見つからないよ、今度捨てるならあそこがいいよと携帯で連絡を取り合う人がいるかと思うと、週に2回黒いビニール袋に入った大人用の紙おむつを何年もの間道端に捨てている人がいます。反対に捨ててあるごみを自分の軽トラックで30年以上拾い続けている人がいます。とても真似できることはありません。足元にも及びませんが、私も年に4回ボランティアで観光地のごみ拾いを行っています。最初はグルー

プ数名だけでしたが、10年以上経った今では企業の方々や他のボランティアの方など40数名の方々が参加してくださり、不法投棄されたごみを片付けております。最初は小さな活動でしたが、継続は力なりで、参加者だれもが自分たちの市をきれいにし、訪れる方々に喜んでいただきたいと思っています。私はそういう皆さんの気持ちに感謝し、市を思うその気持ちが大切だと感じています。

前向きに検討していただけるという事です。期待しております。市民の意識や価値観は、物の豊かさへの傾向が高まっています。市民の皆様方にお力をお借りすることが行政への強力な支援体制につながり、それが文化や教育までに及ぶ幅広い住民参加の街づくりにつながっていくことだと思います。

観光について

質問 それぞれの観光地については紹介や説明、道順がありますが、高萩市めぐりの道順を示したものがあります。訪れた方々に有効な時間を過ごしていただくためにも効率の良い道順を示した観光パンフレットや案内所をつくるべきではないでしょうか。花貫ダム、小山ダム、水沼ダムを結ぶ三ダム周遊コースをつくり、花貫、花園、大北溪谷の紅葉などを楽しんでもいただく構想も是非考えていただき、県北振興につながればと思います。

中井信行 議員

子供達の学校生活について

質問 桐生市の小学6年生の女の子が自殺する痛ましいことが起きました。同市の教育委員会は、その対応を批判されています。いじめはどこでも起こり得ることを前提とすることが確認されました。そこで国は、各教育委員会に対して、いじめを隠さず対応するよう通達を出しましたが、その具体的内容はどのようなものですか。当市は今までの対応で十分ですか。また、いじめにより学校に登校しづらい児童生徒はいますか。

教育部長 内容は、実効性のある指導体制の確立、早期発見・早期対応、家庭・地域・社会との連携、適切な教育指導、いじめを受けた子供へのケア、人権感覚の高揚などです。いじめが原因の不登校はありませんが、訴えがあり指導した報告件数は、小学校で3件、中学校で10件、この4月以降にありました。

教育長 危機感を持った視点で常にあるどの学校も対応している現状です。

いばらき遊芸の里事業について

質問 この事業は、里美地区に続く教育旅行の受け入れ団体の発足を促すとして、県北7市町村を対象に協議会を設立しました。現状はどのようですか。また、当市では上君田診療所を改築して農村交流の場としていくことにしていますが、これらの

類似した事業について、当市独自の施策はできませんか。ぜひ過疎農村地域活性化対策につなげていただきたい。

建設経済部長 県とグリーンふるさと振興機構が取り組んでいる事業で、今年度は常陸太田で県内外の児童生徒が農業体験メニューなどを中心に体験旅行が行われました。旧君田診療所の里山交流施設の利用者は里山交流事業を行う方を対象としていますが、このいばらき遊芸の里事業についても、目的が沿えば利用可能と考えています。

医療機関での治療中断・中止について

質問 患者の経済的理由から医療を中断中止せざるを得ないケースが増加しているとされています。初めから治療をしないことも残念ながらあると思います。資格証明書、国保税滞納など現状はどうですか。個人の経済とは関係なく、必要な時十分な医療が受けられることは行政の責任です。

市民生活部長 北茨城を含んでいます。4月から6施設中5施設で医療中断がありました。資格証明書交付は、現在36世帯52人、滞納は過年度分を入れて約4400万円です。

市長 この保険制度は、各市単位では解決困難な問題が多いので、広域化運営が望ましいと考えます。

舟生佳紀 議員

山間地の活性化について

質問 高萩市の面積の7、8割を占める山間地の活性化なくして、高萩市の活性化はない。花貫はもみじの名所として活況を呈している。期間中の入り込み数と駐車場収入、各売店の売り上げ状況を伺います。

建設経済部長 10月30日から11月28日までの30日間開催して、入り込み客13万人程度、駐車場が普通車1万926台、バス985台、環境整備協力金743万3000円、昨年の売上げ実績、商工会及び6店舗で約1000万円。

質問 国道461号から下君田、上君田、横川を通るルート整備の進捗状況について伺います。

建設経済部長 県道北茨城大子線の整備状況は、整備計画延長2000メートルに対して、平成22年度中に544メートルの整備が完了して、進捗率27.2%。次に県道上君田大能線の整備状況は整備計画延長3000メートルに対し、平成21年度までに2100メートル完了し、未整備区間900メートルに対して80メートル施工の予定で工事を実施している。

この路線の整備については、山間地の活性化につながるということから、引き続き県に対しまして、早期

完成を強く要望していく。

質問 テレビを見ていると、もみじの案内で花園は出ているが13万人の入り込みがある花貫は出ていない。テレビ局に花貫も入れてくれるよう要望してはいいかがか。



下君田地区

その他の質問事項

- 消防団の出動区域について
- ごみ問題について

大足光司 議員

地域活性化（ひとづくり）の取り組みについて

質問 現在策定中の第四次総合計画、平成32年度の目標人口想定数は2万8000人である。小規模人口市町村においてはコミュニティとしての基本機能が崩壊しかねない状況であると考える。

①現在、市に登録されている常会や町内会等、その数と加入されている世帯数は把握されているか。

②今後、市では町内会等の組織をどのように活用されていくのか。

③町内会等、組織の維持・発展させる為に支援をしていく考えがあるのか。

総務部長 常会等の数、及び加入世帯数は、平成22年5月現在で、連絡員数586人、加入世帯数8815世帯である。

副市長 町内会等の組織を今後どのように活用するかについて、地域の特性を踏まえ、効果的な費用の使い方や市と地域の協働の在り方等を工夫し、コミュニティ関連事業として取り組みたいと考えている。町内会への支援については、地域コミュニティと市の関わりがあまり認識されていないことから、本市の職員の意識改革を進めながらコミュニティワーク研修等を通じ、地域コミュニ

ティーとの関係の円滑化、市と地域の関わり方について、地域からの提案事業等をモデル事業として取り組みめないか研究をしていきたい。

質問 本市においては少子高齢化、市民の価値観の多元化、複雑化等に伴う公共サービス需要の増大と財政余力の低下により、全てのサービスを自治体で担うことが困難になりつつある。市民と協働による新しい公共の取り組みが必要であり、住民の為のよりよいサービスの提供を目指していくには、行政と市民の協働による取り組みが必要である。

①庁内の横断的な役づくりとして、体系化する取り組みについての考えがあるか。

市長 横断的な体制については、こちらの里シティづくり、高萩ブランド創出、生涯現役社会創出推進、次世代若手子輩出、地域再生検討プロジェクト、アセットマネジメント研究会等、全部で六本のプロジェクトチームを立ち上げた。げんたか応援事業については、行政が後方に回り、市民主導で行う新しい取り組みである。今後も試行錯誤しながら継続し、市民協働のまちづくりを進めていきたい。



平 正三 議員

雇用問題について

質問 北茨城市は昨年度から、ひたちなか市では来年度から国の重点分野雇用創造事業を活用して、地域の雇用拡大と高校生への就職支援を行っている。高萩市もこうした制度を活用して、雇用拡大と高校生の未就職対策を行うべきである。

建設経済部長 23年度に未就職卒業生対策事業が実施できるように県と調整してまいりたい。このほかにも市内企業やハローワーク、高校などと連携を図り、1人でも多くの高校生が就職できるように努めていきたい。

質問 中小企業基盤整備機構が施工した中郷工業団地赤浜ゾーンは、昨年9月現在で7区画売却され、そのうち4区画が施設建設未着工となっている。その後どのようなになっているのか伺いたい。

総務部長 能一産業は受注が回復する見込みがあり、回復後、工場建設に着工、雇用予定が16名。ニダックは23年度から工場建設に着手、雇用予定が45名。大研は工場建設が未定、雇用予定が10名。アンテックスは駐車場用地で活用、AK-6区画は22年度9月から操業開始、現在5名が働いている。

質問 高萩市としても積極的に働きかけて、早急に建設が進み、雇用拡

大ができるような状況をつくっていただきたい。

市道106号線（豊学校～上宿入口）の側溝整備について

質問 この区間の側溝が整備されていないために、大雨が降った場合、道路に雨水があふれ、子どもたちの通学が非常に危険な状態にあり、地域住民から側溝整備の要望が出されている。この区間の整備について、どのように考えられているのか伺いたい。

建設経済部長 現在は、側溝整備計画を策定している。放流先が課題となっている。

市長 通学路になっていることから、今、知恵を絞ってできることから検討したい。



市道106号線（豊学校～上宿入口）

その他の質問事項

○学校司書配置について

菊地正芳 議員

市民相談体制の充実について

自殺による死亡者数は3万2845人で、その原因の中で「健康問題」が64.9%と最も多く、そのうち4割以上を「うつ病」が占め、総合的な「うつ病対策」が重要な課題であることが、改めて浮き彫りにされた。うつ病は、心の風邪とも言われ、だれもがかかる可能性のある病気です。最近では10代・30代など若い世代を中心に、年々増加の一途をたどっている。

1、病院に行けず悩んでいる人や職場復帰への支援、早期に相談・受診できるしくみづくり、相談体制の充実や市民への啓発など、医療機関や職場、県などの連携のもと、取り組みを進めていく必要があると思うが、今後どのような取り組みを進めていくかとしていくのか伺う。

2、病状の改善、社会復帰の両面で治療に取り組んでいる医療機関を積極的に紹介し、相談者の復職支援までトータルで市として取り組んでいくべきと思うが見解を伺う。

3、「地域自殺対策緊急強化事業」等を実施し、命の大切さや自殺防止を呼び掛ける普及・啓発活動に取り組まれてはいいかがか伺う。

多重債務者について

多重債務があるという事は、各種

税の滞納と公共料金の滞納に結びつくと考えられる。よって、相談窓口と関係課との一層の連携で問題の解決に取り組む体制を造るべきと思う。兵庫県芦屋市では、地方税の滞納者の同意を得て、「滞納者が貸金業者に対して持つ過払い金債権の差し押さえ」を行い、市民の負担軽減と徴収の両得をあげる取り組みをしている。徴収する職員が滞納者に対して、ただ督促を命ずるばかりではなく、多重債務状態に陥っていないかどうか、相談を受け、キメ細やかな対応をとることにより、滞納者の生活が改善され、市においても滞納金を徴収できるメリットがある。本市においても、ヤミ金被害から市民を守る多重債務問題対策、消費生活センターの機能強化と併せて、多重債務者への対応を徴税対策の重要な柱として位置付けるべきと考えが見解を伺う。

介護サービスについて

今回は、「紙おむつ券支給事業」について提案をし、見解を伺う。高齢者世帯にとっては、紙おむつを買うお金など、介護にかかる費用は、生活費に大きく影響します。近隣では、日立市・北茨城市・常陸太田市・常陸大宮市において、福祉サービスの中で「紙おむつ券支給事業」を展開している。本市でも経済的かつ精神的負担を緩和する、こういった支援策が必要ではないか？見解を伺う。

議案質疑

第6回臨時会に提案された議案に対して次の質疑がされました。

議案第68号 高萩市・日立市事務組合の解散に関する協議について

議案第69号 高萩市・日立市事務組合の解散に伴う財産処分に關する協議について

吉川道隆 議員

質問 高萩市・日立市事務組合解散に伴う財産処分に関することについて、解散そのものについては賛成するが、一点だけ確認したい。松岡地域の下水道整備が進んでいくと、し尿処理業者の業務が厳しくなる。合特法に従って、行政が補償するかどうかという点が問題になってくると思うが、市長としてはどのように考えているのか？

今まで業者の方から何度も高萩市・十王町事務組合に対し、陳情などがあっても取り上げてこなかった経緯がある。解散の前にはっきりした考え方を示していただきたい。

今までは事務組合だったから、日立市を含めた方向性ということだったが、24年度以降は高萩市単独にな

るので、最終的には市長の判断になると思う。前向きな対応をお願いしたい。

市長 今まで、事務組合の方からいろいろ要望書が出されてきたが、回答してこなかったことを深くお詫びしたい。今後は、今の指摘を踏まえ、国、県、弁護士等の見解をいただき、検討していきたいと思っているので、ご理解いただきたい。



第4回定例会に提案された議案に対して次の質疑がされました。

議案第75号 高萩市生涯現役社会推進条例の制定について

中井信行 議員

質問 生涯一生懸命働いて、市や国のために努力をされることは非常に良いことだと思います。高齢者の現役については、ボランティアや就労などいろいろな形態があるでしょう。経済状況の悪化で、若い人の就労機会の減少は大きな社会問題となっています。このような中、高齢者があ

健康福祉部長 生涯現役には、高齢者の就労による現役活動も含まれますが、若者の就労機会を奪うものにはならないと考えております。

議案第76号 平成22年度高萩市一般会計補正予算（第6号）

今川敏宏 議員

質問 市有地の売り払い収入についてと、車両売り払い収入の内容を伺う。

総務部長 市有地は4筆でいずれも住宅地として売却。車両は財政課所有の普通車をネットオークションで売却したもの。

質問 地域新エネルギー等導入促進対策費補助金311万5000円の内容を伺う。

教育部長 松岡小学校の新校舎と体育館の間に設ける渡り廊下の屋根に10キロワットの太陽光発電設備を設置するための補助金である。

質問 家屋解体工事請負費の内容を伺う。

総務部長 市有地に建ててある家屋を解体するもの。

質問 水田農業対策経費のホールクロップサイレージ事業の減額補正について、内容とその影響の有無を伺う。

建設経済部長 稲発酵粗飼料収穫機械の導入支援補助金で、減額による影響はない。

中井信行 議員

間伐推進員報償費229万6000円の減額について
質問 内容についてお聞きします。

建設経済部長 間伐事業が効率的に推進された結果、活動日数が減少しました。その残予算分を事業区域の増や備品購入費に組み替えました。

スマイルアッププロジェクト5万円について
質問 内容についてお聞きします。

教育部長 秋山小学校が県内3校に選ばれたモデル事業です。内容は児童の安全確保・防犯活動の充実、65歳以上の方に歩いて巡回を行っていただき、健康増進、生きがいづくり効果を図ります。活動される方に万歩計を着用していただき、1万歩当たり1円の補助金を受け、学校施設の整備に充てます。費用の用途は防犯用品の購入、需用費、万歩計の購入、会議費等です。

菊地正芳 議員

屋外時計購入費63万円について
質問 内容について伺う。

総務部長 市役所の玄関真上に設置されているもので、老朽化に伴い遅れが目立つため、今回電波時計を購入いたします。

質問 「高い安い」の問題ではなく、本来に必要とされているのか、また早急に交換しなければいけないのか等？例えば、市民の声を吸い上げる

とか、設置するならシンボリックな形にするなど、その辺どこまで検討されたのか？疑問に思う所がある。

総務部長 内部的に検討を進めて来ました。提案を踏まえ、今後さらに内容を調査し検討して参ります。

保育所衛生環境向上事業費補助金 118万8000円について

質問 内容について伺う。

健康福祉部長 新型インフルエンザ感染防止に関する物品の整備を図り、入所している児童の健康と安全を確保する為、市内の私立保育所への補助を行う事業経費です。補助対象額が決められていますので、一般的な空気清浄機を考えています、台数は例えば定員数60名の2箇所については5台ずつ、定員120名の2箇所については、10台ずつの補助を考えています。

質問 少ない予算の中でも、ウイルス対策に対応できる機器を購入しなければ意味が無いので、配置しましたと言うスタンスでは困ります。

消防費の中から、連絡車購入事業費122万1000円について

質問 内容について伺う。

消防長 使用していた軽ワゴンが、エンジンの故障により修繕費が30万円以上かかるうえ、他の車両も老朽化しているため、出張に活用できる1300ccクラスのパンタイプを購入します。

平 正三 議員

質問 有明海岸駐車場整備について伺いたい。

建設経済部長 元の市営住宅の跡地約5600㎡の活用として、駐車場以外にも市及び市民団体の各種イベント等の通年利用と観光客の誘致を図る考えである。

駐車台数150台、中央にある公園を北側に移設する予定である。

質問 高萩まつり山車改修支援事業の補助金1800万円の内容について伺いたい。

建設経済部長 道路交通法の基準に適合した山車の形態にするため、改修、新築のため一部を補助する。交付する金額は市内24団体中に18台の山車があり、1台当たり限度額100万円で算出している。工事業者は市内経済の活性化を図るため、市内業者に限定してやっていただく。

議案第77号 平成22年度高萩市水道事業会計補正予算(第3号)

今川敏宏 議員

質問 水道事業の機械購入費について内容を伺う。

建設経済部長 4月から水道料金納付の利便性やサービスの向上を図るコンビニエンスストア納付を導入するための、3連式はがきを圧着する機械を購入するもの。

議案第78号 平成22年度高萩市一般会計補正予算(第7号)

中井信行 議員

債務負担行為の補正予算について

質問 花貫クリーンセンターの管理委託について、現行の職員との違いはどうですか。また、今回委託しようとする選考方法はどのようにするのですか。市では、今職員の減に伴い、臨時職員等の人員が増加しています。経費減の措置ですが、それは3分の1などと言われています。安く労働力を集め、安ければ収益などと官製ワーキングプアを助長して働く勤労納税者に負担をかけてはいけません。どのように考えますか。

市民生活部長 基本的に現行より少ない経費での運用を考えています。業者選定に当たっては、入札時に最低見積者を排除することはできないが、そこで働く人のための配慮を十分していきます。



討論

第6回臨時会に提案された議案に対して次の討論がされました。

議案第68号 高萩市・日立市事務組合の解散に関する協議について
議案第69号 高萩市・日立市事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議について

反対 討論

中井信行 議員

今回の協議資料では、解散後の将来的な課題として、協定書の締結、調整会議設置、解体、合特法となっていますが、少なくとも解散時には、法律などによる組合の置かれた状況を確認のうえ、財産の処分、業者の営業区分の線引き、他市よりのし尿運搬処理、合特法に関しての責任問題等の協議が方向付けがされていなければいけません。解散はその後でなければいけません。協議が合意できないときには、誰が責任を取るのでしょうか。困難な諸問題の中でも特に合特法は、義務ではないにしても市の衛生業務を支えてきた民間業者は、国のインフラ整備の中でその事業を縮小されてきた事実があります。両市での可能な適切な対応が望まれているのです。そもそもこの組

合の解散は日立市、十王町の合併に伴い、消防事務の単独化や、日立市による新たな斎場やし尿処理場の新設により、事業のスケールメリットがなくなったことによります。したがって私もこの組合の解散についてはいずれ仕方ないものと考えていました。しかし、他市の合併についてとやかく言うつもりはありませんが、この組合解散問題については、当市より日立市の責任が大きなものと思っておりますので、日立市がこの組合の解散を急ぐことに危惧を感じています。いずれにしても将来、市民に対して思いもかけない負担を強いることを避けなければいけないのです。

反対 討論

寺岡七郎 議員

反対の理由は、第一に、解散後の施設の利用について日立市は均等割人口割は負担しない。そのために日立市は1309万5000円が負担減になる。高萩市は日立市が減った分だけ負担増になることは認められない。

第二に、現在し尿処理業者が行っている件数は、旧高岡で316件、秋山、和野、千代田、関口で区域外520件、区域内であって下水道の整備はしたけれど未設置の1193件、現在計画中の松岡地域626件、合計2655件であります。それを

許可台数5台で割ると、1台当たり531件、稼動日数を仮に300日とすると、1日平均1.77件であります。今後ますます仕事が減少して厳しい状況になります。今後地元業者を育成するとすれば、最良は旧十王町地域の業者と高萩地域の業者を行政区域で分けてそれぞれの自治体が責任を負うことが最も望ましい解決であります。そのためには合特法も考えるべきである。

第三に、本来し尿処理業務は広域行政として公共下水道と一体でやるべきである。現在加工紙跡地は下水道の区域外であります。駅前から歩いて数分のところが、下水道区域外で、今後の開発に障害になっている。加工紙跡地の開発は高萩の財政問題も含めて極めて重要な政治課題であります。加工紙跡地を区域内として開発を容易にしていこう。加工紙跡地の将来計画を見定めながら組合は解散すべきであります。それを今後の見通しなく解散ありきの今回の解散は反対であります。

一般質問、議案質疑、討論及び応答の記事は、質問者自身が要約したものです。

陳情の書式例

〇〇〇に関する陳情

陳情者
住所氏名

〔連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。〕

趣旨

平成 年 月 日
高萩市議会議長 〇〇〇〇〇あて

○件名、内容、提出年月日、提出者の住所・氏名を記載し、押印(拇印不可)のうえ提出してください。

○郵送により提出された陳情は審議されません。

○道路・河川・側溝など場所に関するものについては、請願(陳情)箇所が分かるように、案内図や略図等をつけてください。

請願の書式例

〇〇〇に関する請願

紹介議員氏名
請願者住所氏名

〔連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。〕

趣旨

平成 年 月 日
高萩市議会議長 〇〇〇〇〇あて

○請願には、紹介議員が1人以上必要となります。紹介議員の署名又は記名押印を受けてください。(紹介議員がいな場合は、陳情書としてください。)

○請願陳情は、いつでも受け付けますが、各定例会(3月、6月、9月、12月)の開会3日前までに提出されたものについて、当該定例会で審議します。

議会へ請願(陳情)される方へ

○議会への請願陳情することのできる事項は、市の行政に関するもの、国や県の施策などを要望しようとするもので、議決事項に関するものなどで、だれでも請願陳情することができます。

第5回臨時会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
報告第15号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度高萩市一般会計補正予算(第4号))	原案承認

第6回臨時会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
選挙第5号	高萩市・日立市事務組合議会議員の補欠選挙について	当選・舟生佳紀
選挙第6号	茨城北農業共済事務組合議会議員の補欠選挙について	当選・作山里美
議案第67号	高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第68号	高萩市・日立市事務組合の解散に関する協議について	原案可決
議案第69号	高萩市・日立市事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	原案可決
議案第70号	リサイクルセンター建設工事請負契約の締結について	原案可決
議案第71号	平成22年度高萩市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第72号	平成22年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第73号	平成22年度高萩市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第74号	平成22年度高萩市工業用水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決

第4回定例会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
議案第75号	高萩市生涯現役社会推進条例の制定について	原案可決
議案第76号	平成22年度高萩市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第77号	平成22年度高萩市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第78号	平成22年度高萩市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
意見書案第5号	T P P 交渉への参加に反対する意見書の提出について	原案決議

請願・陳情の審議結果

件 名	結 果
T P P 交渉参加反対に関する請願	採 択
環境調査に関する陳情	継続審査
赤浜地区工業団地内T K - 2 譲渡に関する陳情	継続審査
し尿、浄化槽汚泥、収集運搬業務に関する陳情書	継続審査

傍聴においでください

本会議は一般に公開され、気軽に傍聴ができます。議員の活動や施政の方針・経過など実際に見聞きしてはいかがでしょうか。本会議の当日、市役所玄関受付で住所・氏名を書いていただき、傍聴券を受け取り、係員の指示に従って傍聴してください。

各委員会は、委員長の許可により傍聴できます。

傍聴席の数は、本会議が40席、各委員会が10席程度です。



次回の定例会は3月です

平成23年第1回高萩市議会定例会は、次のとおり開催される予定です。

3月4日(金) 本会議	議案上程	3月11日(金) 建設経済委員会
3月7日(月) 本会議	一般質問	3月14日(月) 文教厚生委員会
3月8日(火) 本会議	一般質問	3月15日(火) 総務委員会
3月10日(木) 本会議	議案質疑	3月17日(木) 本会議 採決

日程等が変更になることがあります。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

議員の失職について
金沢典胤議員が地方自治法第127条
第1項の規定により、平成22年11月3日
をもって市議會議員を失職しました。

編集後記

お互いの仕事なり職業というものは、それぞれに自分の意思で選び、自分の力でやっているようではあるが、本来は社会（市民）がそれを必要としているからこそ成り立つものである。

つまり、自分がやっているのではなく、社会（市民）にやらせてもらっていると思う。議会の仕事でも市民の安全・安心、住みよい環境が必要とされているからである。そのような仕事を市民から付託されることは、本当にありがたい事だという感謝の念も生じてくると思うのであります。

（大森要二 記）

議会だより 編集特別委員会

委員長
副委員長
委員

大田 吉舟 菊地 鈴木
大森 所川 生佳 正修
光要 和道 隆紀 芳二
司二 雄